

天気予報や解説では用いないことから削除した用語

新規に追加した用語、変更した箇所、及び関係する部分を赤字に下線で表記、ただし削除する箇所は青字に下線で表示。

分類の説明：無印（広く天気予報、気象情報などで使用する用語）、△（天気予報などでは使用しないが報道資料などで使用する用語）、

▲（専門家向けの気象指示報、予報解説資料などで使用する用語）、×（定義などがあいまいなため使用しない用語）

| 分類 | 用語名 | 説明(新) | 分類 | 用語名 | 説明(旧) | 改正理由 |
|----|--------------------|---|----|-------|-----------------------|--|
| ▲ | <u>亜熱帯低気圧</u> | <u>下層では熱帯低気圧に類似した性質を持つが、上層で寒気を伴う点で、熱帯低気圧と温帯低気圧の両方の性質を持つ低気圧。上層まで中心付近に暖気を伴う熱帯低気圧よりも広い範囲で強風が吹く特徴がある。</u> | | | | 米国で熱帯低気圧と区別して警報を発表するようになった。しかし、予報用語として使うには一般に馴染んでいないため。 |
| ▲ | 寒冷低気圧 備考 | 中心ほど気温が低い低気圧。前線を伴わない。 <u>a)寒冷渦ともいい、切離低気圧なども含まれる。</u> <u>b)「寒冷低気圧」は低気圧の温度構造に、「寒冷渦」は相対的に低温の空気が回転運動をしていることに、「切離低気圧」は偏西風の半球的な流れから分離した形状に、それぞれ着目した表現である。</u> | | 寒冷低気圧 | 中心ほど気温が低い低気圧。前線を伴わない。 | 専門性が強いいため分類を変更。備考に関連する用語を記載し、説明を加え、指示報等でより適切に使用できるようにする。 |
| ▲ | <u>キンク</u> | <u>前線が北側に屈曲した部分。時間経過と共に低気圧の発生にいたることがある。</u> | | | | 指示報、解説資料で使用している。 |
| ▲ | <u>(フロント)リス</u> | <u>前線が解消しつつある状況。</u> | | | | 指示報、解説資料で使用している。 |
| ▲ | <u>(フロント)ジェネシス</u> | <u>新たに前線が形成されつつある状況。</u> | | | | 指示報、解説資料で使用している。 |

| 分類 | 用語名 | 説明(新) | 分類 | 用語名 | 説明(旧) | 改正理由 |
|----|------------------|--|----|-----|-------|--|
| ▲ | 沿岸前線 | <u>海から吹き付ける暖気と内陸域の冷気との間にできる局地的な前線。</u> | | | | 指示報、解説資料で使用している。 |
| ▲ | 前線面 | <u>地表から上空へ連なる寒気団と暖気団の境界を前線面という。</u> | | | | 指示報や解説資料で使用している。 |
| ▲ | 総観スケール | <u>大気現象の水平スケールを表わし、波長 2000km～5000km 程度の現象。</u> | | | | 指示報や解説資料で使用している |
| ▲ | メソスケール 備考 | <u>大気現象の水平スケールを表わし、2km～2000km 程度の現象。</u> <u>さらに、メソα (200km～2000km)、メソβ (20km～200km)、メソγ (2km～20km)に分けられる。</u> <u>豪雨や突風といったシビアな大気現象はこのサイズであり、MSM(メソモデル)の予報対象はメソβの一部までである。</u> | | | | 指示報や解説資料で使用している |
| ▲ | 上層、中層、下層 | <u>天気予報の作業や解説においては、一般的に対流圏を上層、中層、下層と分け、上層は 500hPa から上の気層、中層は 700hPa～600hPa 付近の気層、下層は 850hPa から下の気層を示す。ただし、大気中層と言った場合、500hPa から 400hPa 付近まで中層を含む。また、地表に近い部分については、下層に含めることが多いが、地上付近あるいは海面付近として下層と区別する場合がある。</u> | | | | 指示報や解説資料で使用している |
| ▲ | 梅雨前線帯 | <u>梅雨期に日本列島付近に見られる、湿舌・雲域・下層での風の収束域といった特徴を持つ東西にのびた領域。</u> | | | | 梅雨前線帯の南側か北側で豪雨が発生しやすく、豪雨の発生位置を説明する上で必要 |

| 分類 | 用語名 | 説明(新) | 分類 | 用語名 | 説明(旧) | 改正理由 |
|----|------------|--|----|------|---|---|
| ▲ | 極うず指数 | 70° N と 80° N の 500hPa 高度偏差の和。極付近の寒気の蓄積の度合いをみる。 <u>指数が正(負)の時は、極の寒気が放出(蓄積)されていることを表す。</u> | △ | | 70° N と 80° N の 500hPa 高度偏差の和。極付近の寒気の蓄積の度合いをみる。 | 指数の見方に関する説明が抜けているため。 |
| ▲ | 東西流型(ゾーナル) | 偏西風が緯度線に平行で、南北の蛇行が小さい状態。 | △ | 東西流型 | 偏西風が緯度線に平行で、南北の蛇行が小さい状態。 | |
| ▲ | 流線関数 | <u>大気の流れの回転成分の分布と強さを表す量。高気圧(低気圧)の強弱を把握するのに役立つ。</u> | | | | すでに予報用語に登録されている速度ポテンシャルと同様に季節予報支援資料や解説資料で用いている。 |
| ▲ | 逆位相の(谷)場 | <u>偏西風の分流・蛇行により、その領域は気圧の谷で、北方で気圧の尾根となるような大気の流れの状態。</u> | | | | 記者レク等で日本付近の大気の流れを説明するときによく使用されているため。 |
| ▲ | メソ対流系 | <u>水平規模が 2km~2000km(メソスケール)の降水現象をとまなう大気現象。複数の積乱雲の塊を意味する場合もある。</u> | | | | 降水現象の基本概念なので、説明が必要 |
| ▲ | バックビルディング | <u>積乱雲が進行していくその後ろ側で、繰り返し新しい積乱雲が発生する状態。集中豪雨は、このように繰り返し積乱雲が発生することで生じることがある。</u> | | | | 集中豪雨の説明時に使用するため |
| ▲ | 対流不安定 | <u>下層の気塊の持つ、水蒸気の潜熱エネルギーを含んだ全エネルギーが、上層のものより大きい場合を対流不安定という。したがって上空が乾燥しているほど、下層が湿っているほど対流不安定は大きくなる。</u> | | | | これまでの梅雨による大雨にも見られるように、梅雨前線近傍で中層の乾燥空気の進入が関与した例が数多くあり、予報現場でも指示報や短期予報解説等で対流不安定という用語の使用頻度がかなり多かったように思える。上層寒気の進入ではなく、乾燥空気の進入が大雨に寄与したことを述べる(またはその逆)ためには、不可欠な用語。 |

| 分類 | 用語名 | 説明(新) | 分類 | 用語名 | 説明(旧) | 改正理由 |
|----|--------------------|--|----|--------------------|--|---|
| ▲ | 潜在不安定 | <u>下層の気塊を断熱的に乾燥断熱線に沿って持ち上げ、飽和後に湿潤断熱線に沿って持ち上げたときにその気塊の温度が、周囲の気塊の温度より高い場合を潜在不安定と呼ぶ。</u> | | | | SSIなどを併用して単に「不安定」という言葉で対流不安定と使い分けていたが、用語として明確にしておきたい。 |
| ▲ | 差分画像 | <u>各画像の輝度温度の差を用いた画像で、「赤外1-赤外2」や「3.8μm-赤外1」があり、火山灰や夜間の下層雲の識別などに利用できる。</u> | | | | |
| ▲ | クラウドクラスター(Cbクラスター) | 多くの積乱雲が比較的狭い範囲に密集している雲域。Cbクラスターともいう。大雨、突風などの顕著現象を伴うことが多い。 | △ | クラウドクラスター(Cbクラスター) | 多くの積乱雲が比較的狭い範囲に密集している雲域。Cbクラスターともいう。大雨、突風などの顕著現象を伴うことが多い。 | |
| ▲ | シーラスストリーク | 細長い筋状の巻雲。上層の流れにほぼ沿う。 | △ | シーラスストリーク | 細長い筋状の巻雲。上層の流れにほぼ沿う。 | |
| ▲ | ドライスロット | 低気圧などの中心に向かって溝状に延びている雲の少ない領域。 | △ | ドライスロット | 低気圧などの中心に向かって溝状に延びている雲の少ない領域。 | |
| ▲ | Cg | 気象衛星用語としては、発達した積雲 <u>及び</u> かなとこ(アンビル)を伴わない積乱雲。Cumulus Congestus(雄大積雲)から由来する。 | △ | Cg | 気象衛星用語としては、発達した積雲 <u>および</u> かなとこ(アンビル)を伴わない積乱雲。Cumulus Congestus(雄大積雲)から由来する。 | |
| ▲ | ジェット巻雲 備考 | ジェット気流に沿って、その赤道側の近傍に現れる <u>筋状やトランスバース状</u> の巻雲。 <u>一般向けには「ジェット気流に伴う上空の雲」と言い替える。</u> | △ | ジェット巻雲 備考 | ジェット気流に沿って、その赤道側の近傍に現れる巻雲。 <u>「ジェット気流に伴う上層の雲」などの説明を付ける。</u> | 形状の特徴である筋状やトランスバース状を言うべき。 |

| 分類 | 用語名 | 説明(新) | 分類 | 用語名 | 説明(旧) | 改正理由 |
|----|-----------------|---|----|-----------------|--|---|
| ▲ | 波状雲 | <u>風の鉛直シアーが大きいとき</u> 、山脈などに <u>直交する風の流れの風下側に</u> 、 <u>山脈と平行に波のようにできる雲</u> 。通常、高積雲か層積雲で構成される。 | △ | 波状雲 | 山脈などの <u>風下にできる波のように配列した雲</u> 。通常、高積雲か層積雲で構成される。 | 風の鉛直シアーにより出来ることを言わなければ意味がない。 |
| ▲ | コンマ雲 | 発達した低気圧の後面から近づく <u>寒気核を伴った</u> 上層の谷に <u>対応して積雲や積乱雲が組織化してその形がコンマ状になった雲域</u> 。 | △ | コンマ雲 | 発達した低気圧の後面から近づく上層の谷に <u>伴い積雲や積乱雲が組織化してコンマ状になった雲域</u> 。 | 寒気核に対応して出来ることを言うべき。 |
| ▲ | フックパターン | <u>発達中の低気圧等が示す雲パターンであり</u> 、雲域内に寒気側から晴天域がわずかに入り込んで雲域が鉤(フック)状になっている状態で、 <u>フックの位置はおおよそ低気圧中心に対応する</u> 。 | △ | フックパターン | 雲域内に寒気側から晴天域がわずかに入り込んで雲域が鉤(フック)状になっている状態。 | 何に対応するのかを言わなければ意味がない。 |
| ▲ | 帯状対流雲 | 冬の日本海で寒気の吹き出しに伴って現われる <u>風の水平シアーに伴う幅の広い雲の帯</u> 。南縁にCbやCgを含むことが多い。 | △ | 帯状対流雲 | 冬の日本海で寒気の吹き出しに伴って現われる幅の広い雲の帯。南縁にCbやCgを含むことが多い。 | 風の水平シアーにより出来ることを言わなければ意味がない。 |
| ▲ | インスタントオクルージョン | 前線上の波動に伴う未発達の雲域と寒気域内の低気圧に伴うコンマ雲が併合して <u>急発達し</u> 、あたかも前線上の低気圧が発達して、閉塞過程にあるような雲パターンが形成されること。 | △ | インスタントオクルージョン | 前線上の波動に伴う未発達の雲域と寒気域内の低気圧に伴うコンマ雲が併合して、あたかも前線上の低気圧が発達して、閉塞過程にあるような雲パターンが形成されること。 | 低気圧が急発達することに意味がある。元の記述「前線上の波動に伴う未発達の雲域と～、あたかも前線上の低気圧が発達して、閉塞過程にあるような～」では、発達していないとも受け取られる。 |
| ▲ | 鉛直流(ω) | 上下方向の大気の流れ。 | △ | 鉛直流(ω) | 上下方向の大気の流れ。 <u>現在の数値予報においては、上層と下層の収束・発散量から求められる。</u> | 非静力学モデルである現在のMSMでは鉛直流を直接計算しているから。 |
| ▲ | 相当温位 | 水蒸気を含んだ空気塊が断熱的に上昇・下降しても保存する <u>物理量で、水蒸気を考えない場合の温位に相当する</u> 。温度が高いほど、また湿度が高いほど大きな値となる。 | △ | 相当温位 | 水蒸気を含んだ空気塊が断熱的に上昇・下降しても保存する <u>温位</u> 。温度が高いほど、また湿度が高いほど大きな値となる。 | 温位ではないので、正しく説明する必要がある |

| 分類 | 用語名 | 説明(新) | 分類 | 用語名 | 説明(旧) | 改正理由 |
|----|--------------------|---|----|-----|---|---|
| ▲ | <u>自由対流高度</u> | <u>空気塊が断熱的に上昇したときに、自ら浮力をもちうるようになる高度。この高度が存在すれば、大気状態は(潜在)不安定である。</u> | | | | (潜在)不安定を説明するのに必要 |
| ▲ | 対流有効位置エネルギー (CAPE) | 対流が起きるとき周囲に行う仕事量。 Convective Available Potential Energy | △ | | 対流が起きるとき周囲に行う仕事量。 <u>値が大きいほど不安定であることを示す。</u> Convective Available Potential Energy | 不安定は状態を示すもので、程度は示さない。豪雨が発生するときのCAPEは必ずしも高くないので、大きさについてはコメントしない方がいい。 |